

『人間文化』バックナンバー目次一覧

創刊號 昭和59年(1984)8月発行

佐藤 匡 玄	創刊號發刊にあたって	
前田 惠 學	ヨーロッパ仏教の成立 ——Euroboudhisme—Eurobuddhism—Eurobuddhismus——	1
村山 修 一	幕末の妙法院と宮門跡の崩壊	20
諏訪 義 純	『釋門章服儀(立體拔俗篇)』譯註稿——唐・道宣の絹衣論——	46
植村 雅 彦	変革期とトマス・モア	82
江見 佳 俊・佐野 守	深層の機能的モデル構成のための基礎的研究 ——精神分裂病者の意識現象における共形態性について——(1)	45(118)
深山 富 男	ゲーム分析の研究(1)——出版物を通して——	33(130)
苧 阪 良 二	自己意識の生理心理学的側面——脳の何処に「我」は在るのか——	25(138)
石黒 鈺 二・酒井 亮 爾	青年の宗教意識に関する日米比較研究	1(162)

第2號 昭和61年(1986)9月発行

田中 正 美	林則徐の「虎門銷烟」について	1
中山 治 一	コロンブスの帰着——教皇勅書と国家利害——	16
澄田 正 一	遼東半島の先史遺跡(調査抄報)——大長山島上馬石貝塚——	36
深山 富 男	ゲーム分析の研究(2)——出版物を通して——	129(128)
石黒 鈺 二・酒井 亮 爾・許 心 華・山田ゆかり	児童青年の宗教意識に関する研究——日本と台湾の比較——	96(161)
石黒 鈺 二・許 心 華・酒井 亮 爾・山田ゆかり	児童青年の宗教意識における性差と地域差——台湾の場合——	60(197)
早川 昌 範	政治的態度構造における方向の次元の多次元分析	46(211)
江見 佳 俊・山田ゆかり	深層の機能的モデル構成のための基礎的研究 ——20答法における精神病患者の自己記述について(1)——	18(239)
杉下 守 男・伊藤 元 雄	坐禅に関する心理生理学的研究——脳波の分析を中心として——	1(256)

〈資料〉

長谷部幽蹊	〈台湾仏教研究資料〉台湾の仏教・その流れと拡がり ——寺廟堂祠の成立・分布をめぐって——	46
黒田 安 雄	藩政改革と対外的危機——汾陽文書の紹介——	87

第3號 昭和63年(1988)9月発行

鈴木 鋭 彦	遠江国鎌田御厨の在家役	1
橋本 龍 幸	西ゴートの改宗とビザンツ	11
澄田 正 一	遼東半島の先史遺跡——大長山島上馬石貝塚(2)——	37
箕輪 成 男	文化政策と書籍	53
島 岩・引田 弘 道	『バガヴァッド・ギーター註解』和訳(序章)	130(107)

古沢宏輔	意味の変化について	113(124)
深山富男	ゲーム分析の研究(3)——出版物を通して——	94(143)
江見佳俊・山田ゆかり	深層の機能的モデル構成のための基礎的研究 ——20答法における精神病患者の自己記述について(2)——	82(155)
早川昌範	政党支持別にみた政治的態度の因子構造に関する研究	66(171)
石黒鈔二・酒井亮爾・許心華	青年の宗教意識に関する研究 ——日本・台湾・米国・カナダの比較——	34(203)
赤池憲昭・林淳	鳥羽市の盆行事調査資料報告	1(236)

第4號 平成元年(1989)9月発行

澄田正一	遼東半島の先史遺跡——大長山島上馬石貝塚(3)——	1
蛸島直	プユマ族の靈魂観——ピナシキ村を中心に——	143(36)
Arthur Allan BAILEY	Learning to Doubt the Modern Superstitions of Race and National Culture	115(64)
木村英憲	Impact of Stereotyping	83(96)
島岩・引田弘道	『バガヴァッド・ギーター註解』和訳(第一章)	53(126)
山中弘	奴隸問題と教団分裂——アメリカ・メソディズムの場合——	35(144)
鈴木俊次	D. H. ロレンスのメキシコ体験	21(158)
竹内享	A Streetcar Named Desire 再考(回想・弔魂・劇評)	9(170)
江見佳俊・佐野守	深層の機能的モデル構成のための基礎的研究 ——精神分裂病者の意識現象における共形態性について(2)——	1(178)

第5號 平成2年(1990)9月発行

植村雅彦	排斥議会(1679~81年)の考察	1
澄田正一	遼東半島の先史遺跡——貔子窩付近分布調査——	19
阿部美哉	現代アメリカの宗教と政治 ——市民権運動とベトナム反戦運動をめぐって——	25
多門靖容	接統詞と談話展開についての一視点	247(70)
蛸島直	プユマ族ピナシキ村の伝統的医療——ビンロウジはビンロウジ——	217(100)
島岩・引田弘道	『バガヴァッド・ギーター註解』和訳(第二章の二)	173(143)
尾高晋己	バーナード・ルイス著『ムスリムによるヨーロッパの発見』訳注(1)	131(186)
深山富男	病院において看護婦と患者が演じるゲーム——関わり分析の研究(1)——	109(208)
早川昌範	政党支持の相違を規定する要因(Ⅲ)	93(224)
石黒鈔二・酒井亮爾・許心華	家族関係の心理学的研究(1)——祖父母に対する青年の意識——	69(248)
江見佳俊・山田ゆかり	精神病患者の家族意識に関する研究 ——20答法における両親についての記述の分析——	51(266)
引田弘道	Sāttvata Samhitā, An Annotated Translation, Chapter 3-6 (1)	1(316)

〈書評 紹介〉

前田 恵 學	渡辺文麿著『遊行経に学ぶ』——渡辺文麿教授の遺作に偲ぶ——	42
山中 弘	阿部美哉著『政教分離——日本とアメリカに見る宗教の政治性——』	46
波多野和夫	鎌田茂雄著『こんな生き方 もっと孤独にもっと自由に 沢庵』	49

第6号 平成3年(1991)9月発行

竹内道雄	近代曹洞宗教団の形成(一)——明治維新の宗制改革をめぐる試練——	1
大野栄人	『摩訶止観』発大心・真正菩提心とその形成	11
林 淳	文化七年における土御門家と聖護院の争論——聖護院文書の一史料の紹介——	55
阿部美哉	イギリス高等教育改革の示唆するもの	95
木村英憲	Paradox of Racial Attitudes of White Americans : Effects of Areas, Interaction and Style of Presentation	127(160)
深山富男	職場で働く人達が演じるゲーム——関わり分析の研究(2)——	107(180)
岡本真一郎	感謝表現の使い分けに関与する要因	95(192)
江見佳俊・山田ゆかり	精神病患者の家族意識に関する研究 ——20答法における両親についての記述の分析(2)——	77(210)
蛸島直・林 淳・山中 弘	信仰治療研究覚書	65(222)
引田弘道	Sāttvata Samhitā : An Annotated Translation, Chapter 7-9 (1)	1(286)

〈書評 紹介〉

林 淳	村山修一著『変貌する神と仏たち』	112
田浦武雄	阿部美哉著『生涯学習時代の短期高等教育』 阿部美哉監修『アメリカ大学日本校』	116
阿部美哉	山中 弘著『イギリス・メソディズム研究』	119
大野栄人	鎌田茂雄著『中国仏教史』第3巻・第4巻 南北朝の仏教(上)・(下)	123

第7号 平成4年(1992)9月発行

林 淳	土御門家の万歳師支配をめぐる一考察	1
神山重彦	体外に出る魂の物語	15
二宮哲雄	20世紀における諸価値からの自由と基本的枠組の創造 ——ひとつの実験的デザイン——	25
三 苫 浩 輔	源氏物語の雪、絶望と滅びの徴し	43
橋本龍幸(訳)	G. フルニエ, O. ラッペル著「オーリャックにおける イスラム貨幣の財宝の発見について」	73(112)
尾高晋己(訳)	バーナード・ルイス著『ムスリムによるヨーロッパの発見』訳注(2)	59(126)
大 参 義 一	ケニア国ヌグタツ遺跡の旧石器について	37(148)
深山富男	親と子(学童・青年期)が話す時に演じるゲーム ——関わり分析の研究(3)——	19(166)
岡本真一郎	情報への確信・関与と文末表現	1(184)

〈書評 紹介〉

大野栄人	諏訪義純共編『高僧伝』	76
------	-------------	----

W. B. レディカップ(著) 名古屋泰彦(訳)

Higher Education in Japan : An Administrators' Reference to International

Programs by Yoshiya ABE, W. K. CUMMINGS and Yoshiro TANAKA 80

波多野和夫 阿部美哉編『国際文化学と英語教育』 83

鈴木哲雄 鎌田茂雄著『韓国古寺巡礼』百済編・新羅編 87

長谷川昌弘 高木健治(大字)作品集『大字念々』『南京博物院個展』 91

~~~~~  
第8號 平成5年(1993)9月発行

林 淳 陰陽師と神事舞太夫の争論 ..... 1

神山重彦 物語と物語メディア ..... 13

二宮哲雄 *Freedom from Values in the 20th Century and the Creation of  
a Fundamental Framework—The Essence of Human Being  
and Ideal Attitude of Science—* ..... 81(64)

山中 弘 現代イギリスの宗教事情と移民 ..... 65(80)

阿部美哉 大学院の大衆化 ..... 55(90)

酒井亮爾 家族関係に関する一考察  
——核家族と3世代家族を中心に—— ..... 37(108)

岡本真一郎 情報への関与と文末表現  
——話し手と聞き手の対人関係の影響—— ..... 25(120)

〈翻訳〉

尾高晋己(訳) バーナード・ルイス著『ムスリムによるヨーロッパの発見』訳注(3) ..... 1(144)

〈講演〉

石田尚豊 曼荼羅研究の現代的意義 ..... 27

〈書評 紹介〉

多門靖容 山田達也・山口幸洋・鏡味明克共著『東海の方言散策』 ..... 47

~~~~~  
第9號 平成6年(1994)9月発行

森 祖道 日本スリランカ仏教センター(蘭華寺) 1

林 淳 幕末の土御門家の陰陽師支配 19

橋本龍幸 六世紀のフランクとビザンツの理念的関係
——トゥールの儀式に関するグレゴリウスの叙述意識をめぐって—— 59

松 蘭 斉 中世の外記について——局務家の形成—— 87

石黒 淳 ヴィシュヌ信仰の形成と発展
——図像の形成と変容をめぐって—— 119

引田弘道 *Sāttvata Saṃhitā : An Annotated Translation, Chapter 12* 61(190)

山中 弘 アメリカ南部の「毒蛇使いの教会」についての研究覚え書き 45(206)

鈴木俊次 ケンブリッジとD. H. ロレンス 33(218)

青木昭六 異文化間コミュニケーション能力——その核概念とその養成—— 15(236)

岡本真一郎 情報への関与と文末表現——補足実験—— 9(242)

芋阪良二 天文志における視空間構造論について 1(250)

第10號 平成7年(1995)9月発行

鈴木鋭彦	林鶴梁日記——遠州中泉代官時代——	1
石黒 淳	グディマツラムのリンガ	17
神山重彦	物語の中の時間(一)	27
二宮哲雄	The Human Cerebral System and the Community System Correspond to Each Other	113(148)
蛸島 直	プユマ族のカルマハン帰属原理——研究の整理と展望——	85(176)
W. B. Redekop	Pidgin English and Creole	69(192)
木村英憲	淋しいアメリカ人——滞米体験記の皮膚感覚で見るアメリカ——	55(206)
深山富男	「遠慮がち」と自覚する母親の育児相談——3才児健診——	33(228)
酒井亮爾	学校におけるいじめとその対処法に関する一考察	1(260)
〈翻訳〉		
尾高晋己	バーナード＝ルイス著『ムスリムによるヨーロッパの発見』訳注(4)	165(96)
引田弘道	Sāttvata Samhitā: An Annotated Translation, Chapter 25 (1)	129(132)
〈研究ノート〉		
古沢宏輔	On Language Acquisition	209(52)

第11號 平成8年(1996)9月発行

森 祖道	日本スリランカ仏教センター(蘭華寺)〔続〕	1
林 淳	『指田日記』から見た村の陰陽師	19
神山重彦	物語の中の時間(二)	33
山中 弘	マレーシアの宗教状況と華人の宗教世界	135(104)
二宮哲雄	The Human Brain and the Community as a Homologous System	103(136)
高橋 章	アメリカ史における帝国と帝国主義——理論と方法の模索——(上)	79(160)
鈴木智夫	万国博覧会と中国——1851～1876——	65(174)
深山富男	自然体——脚本分析の一事例(3才児健診)——	43(196)
酒井亮爾	学校におけるいじめ自殺——1995年の場合——	11(228)
唐沢 穰・佐野幸子	Determinants of Category-Based Attributions: Salience, Stereotyping, and Causal Inferences	1(238)
〈翻訳〉		
尾高晋己	バーナード＝ルイス著『ムスリムによるヨーロッパの発見』訳注(5)－1	157(82)
〈研究ノート〉		
石黒 淳	シヴァ神話	51

第12號 平成9年(1997)9月発行

竹内道雄	曹洞宗教団の歴史と信仰——三代相論と能山分離独立運動をめぐって——	1
林 淳	幕末の土御門家の陰陽師支配(一) ——『諸国御支配方御日記 慶応三年』の紹介——	15
鈴木鋭彦	林鶴梁日記(二)——文人代官の支配地巡検——	63
神山重彦	「誤解」の物語	79

二宮 哲雄	複雑系としての人間の脳とコミュニティ ——愛知県三好町における事実と政策——	113 (156)
蛸島 直	プユマ族の個人名	87 (182)
野村 達朗	ニューヨーク市におけるユダヤ人移民労働者の文化 (その1)	67 (202)
高橋 章	アメリカ史における帝国と帝国主義——理論と方法の模索——(下)	45 (224)
鈴木 智夫	清朝の遣米教育使節団と在日・在米華人(一)	31 (238)
早川 昌範	政党支持の相異を規定する要因(V)	17 (252)
鈴木 金彌	DSM-IV Training Guide 注釈(1)	1 (268)
〈翻訳〉		
尾高 晋己	バーナード・ルイス著『ムスリムによるヨーロッパの発見』訳注(5)-2	149 (120)
〈資料〉		
木田 光郎・河野 和明	ストループ課題遂行とタイプ A 行動尺度 ——刺激希求尺度・YG 性格検査・MPI との関係——	139 (130)
~~~~~		
第13号 平成10年(1998)9月発行		
大野 栄人	天台『六妙法門』の研究(一)	1
伊藤 孝幸	一八世紀後半の地域における朝廷勢力と武家・民衆	27
三苫 浩輔	秋山真之の Z 旗信号と桓武天皇の東征勅語	41
安藤 充	マレーシア華人社会における仏教	249 (138)
山中 弘	マレーシア華人社会における民衆的寺廟の展開	225 (162)
林 淳	現代マレーシアにおける創価学会の展開	209 (178)
二宮 哲雄	The Human Brain and the Community as a Homologous System : A View from the Perspective of Complex Systems	185 (202)
蛸島 直	プユマ族の出自観念および関連語彙に関する予備的報告	167 (220)
野村 達朗	ニューヨーク市における東欧系ユダヤ移民労働者の文化 (その2)	145 (242)
鈴木 俊次	ロレンスとハーディ——Darwinism の視点から——	135 (252)
木村 英憲	感情移入欠如としての偏見 ——怖がり屋であいまいが好きな「小市民リベラル」——	85 (302)
鈴木 智夫	清朝の遣米教育使節団と在日・在米華人(二)	69 (318)
鈴木 金彌	DSM-IV Training Guide 注釈(2)	53 (334)
赤嶺 亜紀・木田 光郎	非標的画像刺激に対する事象関連脳電位	43 (344)
引田 弘道	シヴァ・リング供養の意義——シヴァ・プラーナを中心として——	19 (368)
熊田 一雄	内観サークル運動における「交わり」と「距たり」をめぐって ——ブーバー哲学との関連において——	1 (386)
〈翻訳〉		
尾高 晋己	バーナード・ルイス著『ムスリムによるヨーロッパの発見』訳注(7)	305 (82)
〈資料〉		
鈴木 哲雄	建中靖国統燈録の住地別人名索引	271 (116)
~~~~~		

第14號 平成11年(1999) 9月発行

林 淳	土御門家配下の知多の陰陽師と出稼ぎ万歳	1
伊藤孝幸	幕藩権力の特質——交代寄合高木家を事例にして——	21
三 苦 浩 輔	日本駆逐艦記	45
養 輪 顕 量	台湾現代仏教事情——中台禪寺を中心に——	75
二宮哲雄	The Human Brain and the Community as a Homologous System : —A New Paradigm Rescuing the Asian Rural Society From Facing a Crisis— the Perspective of Complex Systems	131 (160)
蛸 島 直	プユマ族の変名習俗	109 (182)
鏡 味 明 克	東海地域の方言・地名の意識についての研究	97 (194)
Fitzgerald T. F.	Analysing Sects, Minorities and Social Movements in India : Ritual, Politics, and Soteriology	89 (202)
山 中 弘	宗教社会学における個人主義的パラダイムとその受容をめぐる ——スタークの供給側モデルと井門教団組織論を中心に——	77 (214)
鈴木智夫	清朝の遣米教育使節団と在日・在米華人(二)	61 (230)
多門靖容	比喩史ノート I ——喩辞固定から見る——	39 (252)
鈴村金彌	DSM-IV Training Guide 注釈(3)	25 (266)
酒井亮爾	中学生の不登校に関する事例報告	1 (290)
〈翻訳訳注〉		
大野栄人	天台『六妙法門』の研究(二)	89
橋本龍幸	ウェナンティウス＝フォルトゥナトゥス『聖ラデグンディス伝』(1) 『De Vita Sanctae Radegundis』	143 (148)
〈資料〉		
木村英憲	The Verbatim of a TV Program, "A World of Difference : What's your Attitude?" Part 1	161 (130)

第15號 平成12年(2000) 9月発行

林 淳	土御門家と伊勢の暦師集団	1
伊藤孝幸	交代寄合高木家による鷹狩と伊勢鷹場	27
三 苦 浩 輔	名前と日本海軍気質(一)	51
二宮哲雄	About Finding of the Another Human Brain : Formation of the Tokai Community	117 (160)
鏡 味 明 克	地名標識における日本語特殊音節のローマ字表記の問題点	99 (178)
西川孝雄	高麗時代呂号陸降の研究(2)	71 (206)
鈴木智夫	清朝の遣米教育使節団と在日・在米華人(4)	59 (218)
酒井亮爾	中学生の不登校に関する事例報告(2)	41 (236)
赤嶺亜紀・木田光郎	反応プログラムの違いが反応時間と 事象関連脳電位に及ぼす影響	31 (246)
伊藤君男・岡本真一郎	説得的メッセージの情報処理に関する諸研究の展望 ——説得の二課程モデルからの検討——	13 (264)
熊田一雄	白光真宏会とジェンダー——規範からの自由について——	1 (276)

〈翻訳訳注〉

大野栄人	天台『六妙法門』の研究(五)	83
橋本龍幸	ウェナンティウス＝フォルトゥナトゥス『聖ラデグンデイス伝』(2) 『De Vita Sanctae Radegundis』	147(130)

〈資料〉

鈴木金彌	多軸評定システムによる5つの診断症例	131(146)
------	--------------------------	----------

第16号 平成13年(2001)9月発行

〈論文〉

大野栄人	『大智度論』の中国的展開	1
林 淳	土御門家江戸役所の組織改革	45
伊藤孝幸	近世後期における交代寄合高木家の婚姻について	61
二宮哲雄	人間の脳とその環境としてのコミュニティ ——「環境社会学」の理論的発達のための一試論——	99(216)
鏡味明克	スペイン・ポルトガルの鉄道文化を見る	77(238)
風呂本武敏	Richard Hoggart 論	65(250)
野村達朗	アメリカ移民史学の展開(1) ——「新移民史学」以前のヨーロッパ系移民史研究——	43(272)
西川孝雄	高麗時代邑号陸降の研究IV——各王別・各時代別の特色——	23(292)
鈴木智夫	祁兆熙の『出洋見聞瑣述』について(一)	11(304)
熊田一雄	内親サークル運動における男性性の諸問題	1(314)

〈翻訳・訳注〉

橋本龍幸	パウロニウィア『聖ラデグンデイス伝』(1) 『Baudonivia, De Vita Sanctae Radegundis』(ラテン語原典訳注)	161(154)
内田一成	性的虐待児童の心的外傷後ストレス障害に対する認知行動療法	143(172)
引田弘道	菩薩の偉業物語の如意蔓(アヴァダーナ・カルパラター)邦訳	111(204)

〈資料〉

鈴木金彌	児童期及び青年期における精神障害の37事例(1)	183(132)
------	--------------------------------	----------

〈講演〉

石井修道	『無門関』の成立・伝播・性格をめぐって	201(114)
------	---------------------------	----------

第17号 平成14年(2002)9月発行

〈プロジェクト研究〉

鈴木哲雄	欧陽脩の排仏についての考察	1
鄭 夙雯		
菱田邦男	ベトナム上座仏教における尼僧たちの存在形態	15(378)
ホアントロン・ソー		
岡本真一郎	「そうです」型応答詞の使用の規定因	1(392)
多門靖容		

〈論文〉

林 淳	近世三河万歳の組織——職札と貢納料から見た——	15
-----	-------------------------------	----

神山重彦	『ボーディサットヴァ・アヴァダーナ・カルパラター』 第68～72章への補注	335(146)
安藤 充	ウリハスパティの真理(1)	319(162)

第21號 平成18年(2006)9月発行

〈共通テーマ「文化の歴史的構造と社会」〉

小笠原 真	マックス・ヴェーバー都市論の再検討 ——なぜ社会学者はこの研究を不当に無視してきたか——	1(336)
-------	---	--------

〈プロジェクト研究〉

袁 輪 顕 量	台湾における修行「仏七」と門派化の進む寺院 ——西蓮浄苑・慧日講堂・南普陀寺・靈巖山寺・仏光山——	1
---------	--	---

〈論文〉

菊 池 一 隆	一九二〇年代における華洋義賑救災総会の活動と 農村信用合作社	19
林 淳	徳川将軍と改暦	57
鏡 味 明 克	アイヌ語地名の痕跡化	19(318)
木 村 英 憲	差別的評価としての偏見	29(308)
田 島 毓 堂	『窓ぎわのトットちゃん』語彙10 ——度数1の語(その3)・度数率50%以上——	53(284)
西 川 孝 雄	高麗時代の「叛逆伝」研究 I ——立伝人物の分析——	81(256)
野 村 達 朗	19世紀アメリカ女性労働史の研究	109(228)
橋 本 龍 幸	聖ラデグンデイスとビザンツ宮廷(3) ——ボワティエの「十字架」の宗教的政治的背景——	133(204)

〈書評〉

谷 川 真 一	Xiaobo Lü and Elizabeth J. Perry, eds., <i>Danwei: The Changing Chinese Workplace in Historical and Comparative Perspective</i> 楊曉民・周翼虎著『中国単位制度』	147(190)
---------	---	----------

〈翻訳・訳注〉

大 野 栄 人	『法華玄義』の研究(三)	77
引 田 弘 道	クナラ物語(その一)——『ボーディサットヴァ・ アヴァダーナ・カルパラター』第59章和訳——	159(178)
神 山 重 彦	『ボーディサットヴァ・アヴァダーナ・カルパラター』 第73～74章への補注	187(150)
安 藤 充	ウリハスパティの真理(2)	199(138)

第22號 平成19年(2007)9月発行

〈共通テーマ「民俗と文化」〉

蛸 島 直	プユマの雨乞い	1(416)
-------	---------	--------

〈プロジェクト研究〉

多 門 靖 容	定型の前置き表現分析のために(2)	
岡本真一郎	——オソレイリマスガ・キョウシュクデスガ資料——	27(390)

〈論文〉

林 淳	一九三〇年、マルクス主義者と宗教学者の論争	1
菊池一隆	万宝山・朝鮮事件の実態と構造 ——日本植民地下、朝鮮民衆による華僑虐殺暴動を巡って——	15
安 都根	いわゆる「楊斌事件」からみる中国の 対朝鮮半島戦略の一側面	81
三 苦 浩 輔	芥川龍之介『偷盗』の非道の物語	99
熊田一雄	日本の新宗教と『暴力のアート』 ——天理教教祖の場合——	51 (366)
尾高晋己	オスマン帝国とロシアの通商・航海条約(1783)について ——オスマン外交のヨーロッパ化の視点から——	65 (352)
西川孝雄	高麗時代の「叛逆伝」研究Ⅲ——立伝人物の分析——	75 (342)
橋本龍幸	聖ラデグンディスとビザンツ宮廷(4) ——ポワティエの「十字架」の宗教的政治的背景——	103 (314)
小笠原 眞	「日本の近代化と禅宗」再考 ——特に鈴木正三にみる「日本資本主義の精神」論をめぐって——	123 (294)
鏡味明克	東北地方のアイヌ語地名の痕跡	141 (276)
田島毓堂	『窓ぎわのトットちゃん』語彙11 ——度数1の語——(その4)	151 (266)

〈翻訳・訳注〉

大野栄人	『法華玄義』の研究(Ⅱ)	121
立川武蔵	『完成せるヨーガの環』研究(二)	179
引田弘道	クナラ物語(その二)	173 (244)
安藤 充	ウリハスパティの真理(3)	191 (266)

第23号 平成20年(2008)9月発行

〈共通テーマ「民俗と文化」〉

鏡味明克	東北地方のアイヌ語地名の復元	1 (368)
木村英憲	評価の源泉としての文化——異文化接触の視点から——	9 (360)
蛸島 直	台湾先住諸民族の「頭目制」とその分類をめぐって	31 (338)

〈論文〉

菊池一隆	日本国内における在日中国・「満洲国」留学生の対日抵抗について ——戦時期、日本華僑史研究の一環として——	1
後藤致人	近代日本における内奏の位置づけと密奏の系譜	47
下川玲子	朱子学と自由主義	75
松 蘭 斉	治承三年のクーデターと貴族社会——花山院流と藤原基房——	91
小笠原 眞	加藤高明——特に彼の外相及び首相としての功罪——	45 (324)
Shinichi Tanigawa	Origins of <i>Danwei</i> Mobilization	63 (306)
西川孝雄	高麗時代の「叛逆伝」研究Ⅴ——立伝人物の分析——	83 (286)

〈翻訳・訳注〉

大野栄人	『法華玄義』の研究(Ⅲ)	123
神山重彦	『クナラ物語』への補注	111 (258)

引田 弘道	ヤショーダ物語 ——『ボーディサットヴァ・アヴァダーナ・カルパラター』第62章和訳——	121 (248)
〈資料〉		
林 淳	神事舞太夫と修験の争論	209